

リハビリテーション科	
診療科目：リハビリテーション	
診療科担当研修責任者名： 川島 寛之（リハビリテーション科診療科長） 診療科連絡先担当者名： 木村 慎二（リハビリテーション科病院教授）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：1人
◇◇学会認定専門医数◇◇	
リハビリテーション医学会専門医2人、日本整形外科学会専門医2人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本リハビリテーション医学会指導医1人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
<p>当リハビリテーション（以下、リハ）科は平成28年4月に開設し、実際の外来およびリハ診療は総合リハセンターで行われている。当センターは平成18年1月に、新病棟東館2階に移転し、施設面積は704㎡と広く、PT室、OT室がそれぞれ大きな1室になり、ST室は個室3室を備えている。リハスタッフは理学療法士(PT) 13名、作業療法士(OT) 5名、言語聴覚士(ST) 5名、看護師4名、リハ医は5名（専従4名、兼任1名）である。その他にセンター内には摂食嚥下リハ部門（兼任歯科医5名）と呼吸リハ部門（兼任呼吸リハ担当内科医2名）があり、リハ医療の全般を行っている点が特徴である。年間の当センターでのリハ施行延べ人数は約5万3千名であり、その疾患は多岐にわたる。平成18年1月に日本リハ医学会研修施設に認定され、さらに平成26年4月からは、がんリハと心大血管リハも新たに開始している。</p>	<p>初期研修によって、各種疾患のリハ医療に対応可能で、かつ専門性の高いリハビリテーション診療を習得する目的に本コースでの研修を行う。これらの研修を通して、臨床の場での情報交換と生涯学習ができる体制を構築する。</p> <p>リハビリテーション医学はQuality of life (QOL) の向上を目指すことが本質である。対象疾患は全ての診療科の疾患であるため、あらゆる疾患の概念、治療法を熟知することはもとより、リハ医学に特異的な診察、処方を熟知することが必要である。他院では経験することが難しい摂食嚥下リハ、呼吸リハについてもそれぞれの専門医の指導の下、研修することが可能である。さらには介護保険を含めた社会保障制度、家屋構造・社会福祉制度に関する情報の習得、ハンデキャップをお持ちの患者への心理的アプローチなどの研修にも適している。</p>